

ROKEN いばらき

第64号

2024.2.1

一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会



シャクナゲが咲き誇る春の花園神社

新緑の花貫溪谷 汐見滝吊り橋



花園神社の拝殿屋根の赤鬼

目次 Contents

- 会長あいさつ 2
- 理事新就任あいさつ・茨城県福祉部 長寿福祉課 課長あいさつ 3
- 功労者表彰および永年勤続者表彰 各賞受賞者代表のあいさつ 4・5
- **特集 専門家によるレポート**
畜尿と排尿のしくみ
医学博士・社会福祉法人森田記念会理事長 **森田 隆氏** 6・7
- 企画1 緊急アンケート実施の結果報告
在宅復帰支援・物価高騰の取り組み 8・9・10
- 茨老健からのお知らせ①・お知らせ② 11
- 県内他団体のご紹介 『劇団 いばらき』 12・13
- スタッフからの一言 [つねずみ] 14
- **特別寄稿 歌手 城 南海さんからのメッセージ** 15
- 企画2 各専門委員会レポート 16・17
- 令和5年度各専門委員会主催研修会実績 18
- みんなの広場 [フィニックス那珂・つくばリハビリテーションセンター・
やすらぎ・ウイケア]・編集後記 19
- 会員施設一覧 20

会長あいさつ



一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会
会長 大場 正二

～わたしたちの使命を見つめて～

新年明けましておめでとうございます。まずは、この広報誌を通じて全ての方々に心から感謝の意をお伝えしたいと思います。日頃より、介護老人保健施設の発展と向上に尽力していただいている役職員の皆様、そして関係各位に厚くお礼申し上げます。また、会長として挨拶の機会をいただいていますことに感謝いたします。

さて、皆さまもご周知のとおり、2024年4月に迫った介護診療報酬の同時改定も間近となっています。この改定は、介護老人保健施設とその経営母体となる医療機関にとって重要な節目になるものと認識しています。

私たちはこれまでも改定のたびに対応を重ねて参りました。当然に足下への対処は必然なものです。ただ、この時期だからこそ、老健の使命と周りの期待に応える役割を考える機会にするべきではないのでしょうか。

介護老人保健施設は、高齢化社会においてますます重要性を増しており、地域・社会からも一層の関心と期待が寄せられています。私たちの施設は、高品質な介護サービスの提供、施設間または地域間での品質の偏りが少ないこと、地域との連携強化が比して進んでいること等を業態の特徴とし、多くの方々が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでまいりました。そして、定期的に行われる報酬改定にも真摯に向き合い、施設の発展のために努力を重ねています。

ときには、報酬改定や社会情勢の変化に伴い、老健の運営方法を見直さざるを得ない局面や新たなチャレンジを強いられた場面もあったかと存じます。しかし、私たちの使命は変わりません。私たちは、高齢者の方々が安心して過ごせる環境を提供し、一人ひとりの尊厳と幸福を守ることです。この使命に対して、私たち茨城県介護老人保健施設協会の会員は団結し、協力し合いながら前進してまいります。

そして、最も信頼でき、大切な存在である施設内で働く職員の皆様へ私からのエールを送りたいと思います。

施設で働く職員の皆様、日々の業務に情熱を注ぎ、高い専門性を持って最善のケアを提供して下さいます。私たちの施設は、職員の皆様の尽力と情熱に支えられています。また、時には課題に向き合い苦心し、頑張っている職員の皆様に頭を下げると同時に、一層の活躍を期待させていただきたいと思っています。

末筆となりましたが、困難な局面であっても、団結力とお互いへの励ましの気持ちを忘れずに、共に乗り越えてまいりましょう。

ありがとうございました。

新就任あいさつ



介護老人保健施設 鹿野苑
施設長 橋本 有

この度、令和5年5月の理事会において理事に選任されました橋本です。

私は、同年4月より介護老人保健施設「鹿野苑」に前任者の退職に伴い着任いたしました。

介護分野に関する知識や経験に乏しい自分に職責を全うできるか甚だ不安ではありますが、精一杯努力していく所存ですので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

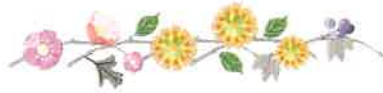
当施設は平成2年8月9日に開設され、病院や自宅からリハビリが必要な方々を積極的に受け入れ、在宅復帰へ向けて充実したサービスを提供する「在宅復帰超強化型」の老健として運営してまいりました（入所定員：100名、通所定員：130名、療養室：37室、協力病院：医療法人社団 善仁会 小山記念病院）。

また、厚生労働省「人口動態統計」を見ると1950年初めには自宅での死亡割合は80%を超えていましたが、2021年には約17%まで減少しているように希望してもなかなか自宅で人生の最後を迎えることが困難な時代と

なっております。当施設ではご本人・ご家族の希望があれば看取りケアをお勧めして、利用者様とご家族が悔いなく最後の時を迎えられる自宅に代わる場所となれるように心がけてケアを続けております。

浅学菲才の身なれども日々情報社会の中で暮らしていると、少子高齢化社会による人口減少のために介護需要の増大にもかかわらず、それを支える介護職員が減少して現場が逼迫していきだろうと容易に想像できます。さらに、当施設では外国出身者を積極的に受け入れておりますが、先日のテレビの報道で介護職員の平均報酬が他職種よりも約67,000円も低い状況では、介護職が魅力ある職場として求心力を保てずスタッフの先細りが懸念されます。来年2024年には介護報酬改定が控えておりますが、需要増大にこたえられる持続可能な介護保険施設となれるように安定した財政基盤と人材供給・維持が可能となるように介護現場の窮状をしっかりと把握して抜本的な対策を講じていただきたいと思います。

新就任あいさつ



医療法人芳医会

理事長 瀧 慶治

～とんかつ屋でサービスについて考える～

県の最北部で介護老人保健施設「ひだまり倶楽部」等を運営しております瀧と申します。このたび茨城県介護老人保健施設協会理事に推挙をいただきました。微力ながら協会のためにお役に立てれば幸いです。

さて介護といえはサービスを提供する業種としてとらえられることが多いのですが、私の行きつけのとんかつ屋についてちょっとお話をします。そこは特にコースかつが美味しくご飯キャベツお新香などお替わり自由というありがたい（こんなことを言っているからダイエットとは縁がない）お店なのですが行く時に少々の憂鬱を感じます。

ご飯なりキャベツなりが少なくなると、通りがかった店員が「お替わりはいかがですか～」と爽やかに声をかけてくれるんですがタイミングがおかまいなしで、たいてい口いっぱい物を頬張っているときに「いかがですか～」を言ってくる。「いただきます」も「けっこうです」もこの状態では「モゴ

モゴモゴ」になってしまいます。かといって要る時に大きくうなずく、のはともかくとして要らない時に箸を持った手をブンブンと振ったりするのは邪険な感じがしてイヤです。このような思いが私にとっては余計な負担と感じられて、せっかくのとんかつの味が一段落ちてしまうわけです。

もちろん店側としてはこれは「当店自慢のきめ細かなサービス」なんでしょうし、これを是とするお客さんも多いことと思いますが、この話題で私が言いたいのは①提供者が「良いサービス」と思っているても受け手にとってはかえって迷惑（有害）なことがある②何を良質のサービスと考えるかはそれぞれ受け手の数だけあるのではないかと、ということです。介護のサービスと客商売のサービスでは違う点多々ありますし、人手不足の時代に個々の利用者に対応するのは大変難しいのは承知していますが、サービスを供給する立場として肝に銘じておきたいと思います。

茨城県福祉課課長あいさつ



茨城県福祉部 長寿福祉課

課長 山田 俊光

あけましておめでとうございます。

茨城県介護老人保健施設協会会員の皆様方には、日頃から高齢者保健福祉の向上並びに介護保険制度の円滑な運営に多大なご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

空気が乾燥し、気温が低くなる冬は、新型コロナウイルス感染症はもとよりインフルエンザ等の様々な感染症が流行しやすい時期です。重症化リスクの高い高齢者の方が多く生活している介護老人保健施設におかれましては、引き続きウイルスを「持ち込まない」、「拡げない」対策を徹底することに加え、感染症や災害が発生した場合であっても、入所者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築いただきますようお願いいたします。

さて、我が国では、人口減少と少子高齢化が急速に進行し、本県におきましても、昨年10月1日現在の高齢化率は30.8%という状況にあり、今後、国民の医療や介護のニーズがさらに増加するこ

とが見込まれています。

令和6年度は、こうした人口構造の変化やそれに伴う社会状況の変化を踏まえた介護報酬改定が予定されており、「+1.59%」のプラス改定となり、介護職員の処遇改善や光熱費の高騰対策等が盛り込まれる見通しとなっております。他に施設の運営基準の改定も予定されていますことから、各施設におかれましては改定内容に対応できるよう、準備を進めていただきますようお願いいたします。

また、県といたしましても物価高騰対策として、エネルギー価格や食料料費の高騰により増大する施設の負担を軽減し、健全な施設運営を図るための支援を行っているところです。

結びに、今後とも本県の高齢者保健福祉行政の推進にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展をご祈念いたしまして、挨拶といたします。

功労者表彰および永年勤続者表彰

*受賞のみなさま、誠におめでとうございます。

功労者表彰受賞者一覧票 14名

施設名	職名	氏名	勤続年数	施設名	職名	氏名	勤続年数
おおあらい	師長	東山 春江	10年	サンライズ湊	リハビリ職理学療法士	原島 亮治	12年
大宮フロイデハイム	介護職	小松真紗子	21年	シニア健康センターしおさい	介護福祉士	桂川 正枝	15年
くるみ館	参与	大森 泰	18年	すばる	看護師	関口みのり	10年
ごぎょうの里	介護員	小林 寛幸	21年	田尻ヶ丘ヘルシーケア	支援相談員兼事務員	丹 一樹	19年
さくら	介護職	関口真由美	27年	平成園	副施設長理学療法士	上野 晃	31年
さざんか荘	介護職員	森田 知仁	19年	みなと苑	看護師	大谷 陽子	18年
サングリーンやさと	管理栄養士	埴 美代子	15年	レイクヒルひぬま	介護福祉士	榎戸とし子	23年

永年勤続者表彰受賞者一覧票 27施設 118名

◆ 35年勤続 0名 (該当者なし) ◆

◆ 25年勤続 13名 ◆

施設名	職名	氏名	勤続年数	施設名	職名	氏名	勤続年数
エバーグリーン	介護福祉士	小川ゆかり	30年	八郷プロバンス	介護福祉士	友部 民代	25年
エバーグリーン	介護士	海老澤和美	30年	八郷プロバンス	介護福祉士	成瀬 友恵	25年
エバーグリーン	介護士	川澄しつ子	28年	八郷プロバンス	介護福祉士	大嶋 延子	25年
シニア健康センターしおさい	看護師	佐藤里加子	25年	八郷プロバンス	介護福祉士	倉持 強	25年
シルバービレッジ	管理栄養士	吉成 幸子	26年	八郷プロバンス	事務員(主任)	大島 幸博	25年
八郷プロバンス	介護福祉士(主任)	飯田 真樹	25年	涼風苑	介護職員	羽生 晴美	25年
八郷プロバンス	介護福祉士	松井 伸介	25年				

◆ 10年勤続 104名 ◆

施設名	職名	氏名	勤続年数	施設名	職名	氏名	勤続年数
おおあらい	師長	東山 春江	10年	さくらがわ	事務職	早瀬 敏雄	10年
おおあらい	介護支援専門員	富田 朝子	18年	桜の郷敬愛の杜	事務員	佐藤あゆみ	11年
大宮フロイデハイム	相談員	入野 紀子	15年	桜の郷敬愛の杜	支援相談員	掛札 朱実	11年
大宮フロイデハイム	介護職	平山 潤	10年	桜の郷敬愛の杜	デイケア相談員	川島 和子	11年
かすみがうら	介護士	田崎 春佳	10年	さざんか荘	介護職員	入江 文彦	15年
かすみがうら	介護士	榎島 綾香	10年	さざんか荘	介護職員	木村 宏美	14年
勝田	介護福祉士	海老澤 茂	20年	サングリーンやさと	介護職員	永瀬 綾子	15年
勝田	介護支援専門員	榎本 年男	21年	サングリーンやさと	介護職員	小林 佳穂	10年
勝田	介護福祉士	栗山 望	21年	サングリーンやさと	介護職員	橘内 文行	11年
くるみ館	介護職員	井上 友実	10年	サングリーンやさと	介護職員	白井 悠太	10年
くるみ館	介護職員	坂本 雄大	10年	サングリーンやさと	介護職員	川辺 洋子	13年
くるみ館	支援相談員	小野 和江	10年	サンライズ湊	介護職 介護福祉士	大内 寛子	22年
くるみ館	看護職員	仁平 美歩	10年	シニア健康センターしおさい	介護福祉士	石川 英行	11年
ごぎょうの里	介護員	荒木 徹	15年	春秋園	介護福祉士	飯村 美香	11年
ごぎょうの里	介護員	小島 幸恵	13年	春秋園	介護福祉士	酒奇 佑司	10年
コミュニティケアセンター縦山	介護職員(主任)	佐川 智也	18年	春秋園	看護師 介護支援専門員	金谷よりこ	20年
コミュニティケアセンター縦山	介護職員	横田 美穂	13年	シルバービレッジ	介護職員	羽持 歩美	10年
コミュニティケアセンター縦山	介護職員(副主任)	小室 孝	13年	シルバービレッジ	介護職員	小柳 純之	10年
さくら	看護師	平山 哲	10年	シルバービレッジ	調理師	大林 智子	10年
さくら	介護福祉士	越渡 聖	10年	シルバービレッジ	介護職員	鈴木まゆみ	10年
さくら	介護福祉士	三上 栄樹	10年	シルバービレッジ	介護職員	松本 瞳	10年
さくら	介護福祉士	高寺 雅史	10年	しろかね	准看護師	福田 春美	13年
さくら	リハビリ	谷口 晴香	10年	しろかね	介護福祉士	須藤 佑介	16年
さくらがわ	介護職	田畑 仁美	11年				

施設名	職名	氏名	勤続年数	施設名	職名	氏名	勤続年数
しろかね	介護福祉士	廣瀬 峰央	16年	はすみ敬愛	介護福祉士	小室布天子	13年
しろかね	介護福祉士	鈴木 久司	17年	はすみ敬愛	介護福祉士	部 理香	13年
しろかね	介護福祉士	大木 裕之	12年	はすみ敬愛	介護職	狩野 哲也	12年
しろかね	介護福祉士	石川 祥恵	13年	ひだまり倶楽部	事務員	櫛田 泰弘	23年
しろかね	介護福祉士	三又 真美	13年	ひだまり倶楽部	介護福祉士	柴田 佳和	22年
しろかね	運転・営繕	横田 武男	10年	ひだまり倶楽部	言語聴覚士	豊田 恵	20年
しろかね	支援相談員	柏淵 恭子	15年	ひだまり倶楽部	管理栄養士	乙木久美子	19年
しろかね	作業療法士	青木 聡美	12年	ひだまり倶楽部	介護福祉士	柴田 広子	19年
しろかね	介護支援 専門員	荒岡 恵子	17年	ひだまり倶楽部	看護師	松尾 稔	18年
すばる	理学療法士	石川 寿史	11年	ひだまり倶楽部	看護師	小室 和子	17年
すばる	管理栄養士	柴山 麗子	11年	プラタナスの丘	支援相談員	矢板 文代	10年
すばる	介護職員	浜野美智子	11年	平成園	栄養課調理師	針谷 文美	10年
すばる	介護職員	藤野 嘉子	11年	まくらがの郷	介護福祉士副主任	高塚 雅美	10年
すばる	介護職員	本井健太郎	11年	みなと苑	看護師	佐久間史枝	11年
すばる	介護職員	沼 由佳	11年	みなと苑	介護員	横須賀敦子	15年
すばる	介護職員	塚田 光子	10年	みなと苑	介護員	鈴木 貴子	13年
すばる	介護職員	高橋 利和	10年	リヒトハウス北浦	介護職	池田 莉菜	10年
すばる	介護職員	梶川 宏樹	10年	リヒトハウス北浦	介護職	大貫 茉侖	10年
すばる	介護職員	野村 朋子	10年	涼風苑	介護職員	小手 涼子	10年
田尻ヶ丘ヘルシーケア	理学療法士	安齋 明子	13年	ルーエしもつま	介護福祉士	鈴木 厚子	16年
田尻ヶ丘ヘルシーケア	介護員	鈴木 建	13年	ルーエしもつま	介護福祉士	飯田奈緒美	10年
田尻ヶ丘ヘルシーケア	介護員	及川 俊枝	12年	ルーエしもつま	事務職員	倉持みゆき	10年
つまさと	介護職	細谷真由美	14年	ルーエしもつま	介護福祉士	中里 梨紗	10年
つまさと	介護職	浅野 宏紀	16年	ルーエしもつま	介護士	中山しげ子	10年
つまさと	介護職	児玉 直也	13年	レイクヒルひぬま	施設相談員	平井 聖子	16年
つまさと	調理員	上江洲 修	11年	レイクヒルひぬま	介護福祉士	佐藤 梓	23年
はすみ敬愛	介護福祉士	田口 弘子	13年	レイクヒルひぬま	看護職員	和田 春江	11年
はすみ敬愛	介護福祉士	相川 玲	13年	レイクヒルひぬま	介護福祉士	高萩 宏美	15年
				レイクヒルひぬま	介護士	井上真由美	13年

功労賞受賞にあたり

老健すばる
看護師 関口 みのり



この度は、功労者として表彰をして頂き誠にありがとうございます。

老健すばるは、2011年9月に開所し母体である社会医療法人達生堂城西病院が併設されております。私は、2012年に16年間お世話になった併設病院から移動して参りました。

入職当初は、看護部がモデルとなり業務内容のシステム

作りから始まり、認知症の症状が顕著に出現している方の対応の仕方や生活リハビリの取り組み、感染予防対策など多職種スタッフとのミーティングや勉強会の開催などスタッフ教育に励みました。10年の年月をかけて、知識やスキルを積み上げていき今では、スタッフが主体となって問題の抽出や業務改善、勉強会の開催などを実施できるようになりました。スタッフの成長は、看護介護部長である私にとって何よりの喜びでもあり、仕事をする上でのやりがいにもなっています。施設運営の中では、要となる相談室での業務にも従事しており病院の看護師では、経験できない事を沢山体験させて頂いております。これからも多職種連携を大切にして施設で働く看護師の役割とは何かを探求しながら実績を積み上げて行きたいと思っております。

永年勤続表彰受賞にあたり

介護老人保健施設
大宮フロイデハイム
介護職 平山 潤



この度は、永年勤続者として表彰して頂き、誠にありがとうございます。

介護老人保健施設大宮フロイデハイムは志村フロイデグループ最初の介護保険施設として平成8年に開設され、医療法人博仁会志村大宮病院に併設されております。私は平成25年に入職し、勤続11年目になります。入職後、介護福祉士の資格を取得する事が出来ました。ここまで続け

てこられたのも施設長をはじめ諸先輩方のご指導のお陰と感謝しております。

私が介護士を選んだ理由は、将来両親が歳を重ね介護が必要となった際に、私に何が出来るのかを考え不安を感じるようになったからです。できれば私自身が直接、両親の介護に携わりたいと考え介護士を目指しました。

現在は超強化型老健として、在宅復帰を目指す利用者様や家族様の意向や想いに耳を傾け、多職種連携のもと利用者様が望む暮らしに少しでも近づけていけるよう施設生活の中で常に利用者様の自立支援の視点を考えながらケアを行っています。

今後も利用者様1人ひとりに寄り添い、笑顔と感謝を忘れずに支援をしていきたいと思っております。

特集

老健施設に入所してくる利用者は殆どが排尿の問題を抱えています。バルーンカテーテルを留置されている入所者も少なくありません。

私は泌尿器科医で、プロスペクトガーデンひたちなかの施設長を務めています。本号と次号では排尿障害を抱えている利用者をどのように介護したらよいか、職員の立場で解り易く伝えます。

排尿障害の基礎と臨床

1 介護に役立つ排尿の知識

尿の生成

尿は腎臓で創られ、腎臓を流れる血流500ml/minから1分当たり1mlの尿が作られます。その尿は尿管の蠕動(ぜんどう)運動で膀胱に運ばれます。この尿管の蠕動運動があるお陰で、横になっていても、極端な場合、逆立ちしていても尿は膀胱に溜まります。尿は1分間に約1ml作られるので、1時間では60ml、1日の尿量は、60×24で約1500mlです。水分を多めに摂取している場合やお茶、コーヒーなどが好きな方、また利尿剤を服用している場合はそれよりも多い量の尿が出ます。日本人の膀胱の容量は約300ml程度なので、日本人は1日の尿回数は平均6回程度、そのうち夜間は0~1回が正常です。

蓄尿排尿の仕組み

膀胱には300ml程度尿が溜ると尿意(出たい感じ)が起こります。膀胱機能が正常の場合は尿意が起きても排尿を我慢でき、400~500ml程度で排尿したくなり、排尿が起こります。このように膀胱は、尿をためる機能(蓄尿という)と尿がたまっただの感知して尿を出す機能(排尿という)の一見相反する二つの機能を持っています。これらの機能を調節するのは、大脳-脊髄-末梢神経です。

蓄尿時には、膀胱伸展(尿が溜るため)の刺激が骨盤神経を経て脊髄後根から仙髄に入り、陰部神経核(Onuf核と呼ばれる)を興奮させて外尿道括約筋を収縮させます。同時に、骨盤神経を介して仙髄に入った求心性入力、脊髄内を上行して胸腰髄交感神経核に至り、そこからの遠心性興奮は下腹神経を經由して、交感神経α作用により膀胱頸部(出口)の緊張を増大させるとともに、交感神経β作用により膀胱排尿筋を弛緩させます。その結果、膀胱内圧よりも膀胱頸部の尿道閉鎖圧のほうが高い状態となり、膀胱が緩んで、膀胱出口の括約筋が閉じて尿漏れは起こりません。この状態までは自分が気が付くことなく無意識のうちに保たれます。

膀胱の尿が200~300mlになると、骨盤神経を介する求心性入力はさらに上行して脳の橋(きょう)の蓄尿中枢(青斑下核であることが知られている)に伝えられると同時に、大脳皮質の感覚野に達し、膀胱に尿がたまっただ事を自覚します(初発尿意といいます)が、橋の蓄尿中枢からの出力で膀胱は更に弛緩し膀胱頸部尿道は更に収縮して蓄尿が持続します。

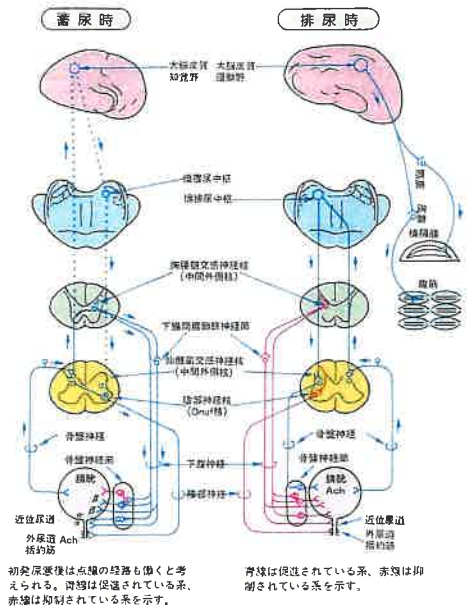
膀胱に350~400mlの尿が溜ると尿意(大脳皮質で感ずる)が急速に高まります。いよいよ排尿する状況になる(トイレに行くなどする)と、膀胱からの骨盤神経を介する求心性入力は一気に高まって脊髄内を上行し橋の排尿中枢に至り、橋排尿中枢からの遠心性刺激は仙髄副交感神経核の神経を興奮させて膀胱収縮をもたらします。同時に、橋排尿中枢からの出力は、仙髄の陰部神経核を抑制して外尿道括約筋を弛緩させ、胸腰髄交感神経核を抑制して膀胱頸部を弛緩させます。このようにして尿道が緩むと同時に膀胱が収縮し、円滑な排尿が行われます。

森田記念会 理事長

森田 隆

【略歴】

- 昭和 49年 東北大学医学部卒業
- 昭和 55年 医学博士号授与
- 昭和 59年 文部省在外研究員として
米国エール大学医学部泌尿器科出向(2年間)
- 平成 2年 日本泌尿器科学会賞受賞
- 平成 3年 東京医科歯科大学医学部泌尿器科講師
- 平成 6年 東京医科歯科大学医学部泌尿器科助教授
- 平成 9年 日本神経因性膀胱学会賞受賞
- 平成 14年 東邦大学医学部泌尿器科学第一講座教授
- 平成 15年 医療法人森田記念会理事長に就任
- 平成 16年 東邦大学医学部泌尿器科客員教授、
日本平滑筋学会理事、第46回日本平滑筋学会会長
- 平成 17年 社会福祉法人森田記念会理事長に就任
- その他 日本泌尿器科学会指導医・専門医、
日本腎臓学会指導医・専門医、
日本性機能学会評議委員・指導医・専門医、
アメリカ泌尿器科学会



高齢者に多い排尿の病気

1. 神経因性膀胱

高齢になると、さまざまな疾患で先に述べた畜尿—排尿の神経の機序が障害されます。それらを総称して神経因性膀胱と呼びます。患者さんには「神経が原因で膀胱の機能障害が起きている」と説明しています。

原因疾患としては

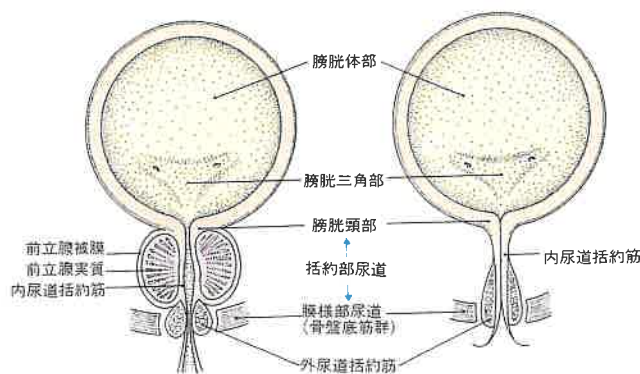
1. **脳梗塞、脳出血など**によって起こる畜尿・排尿中枢の障害
2. **脊椎・脊髄疾患**では膀胱に尿がたまって排尿したくても、括約筋が緩まず排尿できない膀胱と括約筋の協調不全
3. **糖尿病**などの末梢神経障害
4. **婦人科手術、直腸がん手術など**による骨盤内の神経損傷

があります。老健入所者の場合、脳出血や脳梗塞の既往を持っているのが普通で、腰痛を訴える方も多くみられます。糖尿病を患っている方も多くみられます。従って、老健入所者が排尿障害を訴える場合、上に述べた1-4の原因が組み合わさって排尿障害が起きている事が考えられます。入所時に既往歴をきちんと把握しておくことが大切です。

2. 前立腺肥大症と排尿障害

前立腺は男性固有の臓器です。男性の精巣で作られた精子は精管で前立腺に運ばれ、前立腺分泌液と共に尿道から射精されます。膀胱の尿も尿道から排尿されるので、前立腺は尿と精液の交差する通路になります。排尿時には尿が精管の方向に行かないように、また、射精時には膀胱頸部が閉じて精液が膀胱に逆行しない仕組みになっています。

高齢になると前立腺が肥大し尿道を圧迫するだけでなく膀胱を刺激し、頻尿(尿回数が多くなる、特に夜間)や排尿困難になります。高齢男性の入所者が、夜間に頻繁にトイレに行く場合、まず、前立腺肥大症を考える必要があります。前立腺癌でも同じような症状を訴えますが、現在、前立腺癌は検診でPSAが調べられていますから、入所時に、診療情報提供書でPSA値を見ておくことが大切です。



3. 尿失禁

高齢者に起こる尿失禁には、尿が出たくなった時に我慢できずに漏らしてしまう**切迫性尿失禁**、急に立ち上がった時、くしゃみをした時や尿が漏れる**腹圧性尿失禁**、尿意や運動とは関係なく、尿がだらだらと漏れる**溢流性尿失禁**があります。

●切迫性尿失禁

排尿を我慢できずに尿を漏らしてしまう切迫性尿失禁は高齢者によく見られます。主に脳の障害や脊髄神経の障害によって起こりますが、糖尿病の初期や膀胱炎によって膀胱が過敏になっている場合にも起こります。一般的に過活動膀胱と呼ばれます。従って、原因の診断にはまず尿の検査(検尿)が必要です。尿検査で異常が無ければ、神経因性膀胱による膀胱の機能異常と考えて治療します。

●腹圧性尿失禁

急に立ち上がった時、咳・くしゃみをした時、飛び跳ねたりする時に起こる尿失禁です。女性に多く、出産や手術などによって膀胱頸部の筋収縮が低下したためと考えられています。男性では前立腺癌で前立腺を全摘された場合に見られます。臨床症状から診断できるのが普通です。

●溢流性尿失禁

前立腺肥大症や糖尿病性の神経因性膀胱で、尿排出がうまくできない時には、膀胱内に大量の残尿があり、膀胱がいっぱいになると、溢れるように尿が出てきます。これが溢流性尿失禁です。自分で症状を訴えられる場合は診断は容易ですが、寝たきりの方や、自分で症状を訴えられず、いつも下着を濡らしている利用者は、既往歴をみて、残尿検査をする必要があります。

溢流性尿失禁のある利用者では尿が膀胱にうっ滞するために、腎機能の低下を招くので、緊急的にはバルーンカテーテルを留置するなどの処置が必要です。

高齢者の排尿障害の治療の目的は、尿路感染症を治療する事と腎機能を保護する事です。次号では老健施設での排尿障害治療の実際について解説します。

企画 1

緊急アンケート実施の結果報告

在宅復帰支援への取り組み、および、物価高騰への取り組みについて緊急アンケートを実施いたしました。

【在宅復帰支援への取り組み】

Q：貴施設の在宅復帰支援への取り組みについて、職種問わず小さなことでも良いので教えてください。

〈入所前後・退所前後訪問指導の実施について〉

- 入所日に訪問し、入所前の生活状況と家の環境把握を行い、在宅復帰に何が必要か考えていく。
- 入所前後訪問指導の実施 ⇒ 家族の介護負担軽減に対し、期間入所等の提案をしている。
- 入所前後訪問指導の実施⇒相談員、リハビリ職員、介護職等で訪問し、環境に合わせた支援を行う。
- リハビリ職による家屋調査
- 入所直後と退所前に訪問指導を実施し、在宅復帰へ向けての環境調整を行う。また、退所後訪問の実施にて退所後の生活状況を確認し、必要に応じて家屋環境の再調整や生活指導を行う。
- 退所前後訪問指導の実施 ⇒ 退所前に本人も一緒に外出し家での移動、福祉用具、改修についての検討・提案（居宅ケアマネもや福祉用具相談員も同行）。退所後に訪問し、生活状況の確認・困りごと・心配ごと・介助方法などの提案を行う。
- 退所前後訪問指導の実施 ⇒ 施設での生活の様子を報告し、在宅生活での注意事項を家族に指導している。
- 退所前訪問指導の実施 ⇒ 本人同席のもと実施し、動作確認、ケアマネージャー、福祉用具業者、家族と相談・調整を行う。
- 退所前後訪問を行い家族の不安が無いように居宅事業所との連携を図る。

〈ご自宅を想定した居室の環境調整・歩行補助具等の使用〉

- 退所に向けデモで歩行器等使用し、同じ福祉用具で在宅生活が可能になるよう支援しています。
- ご本人にも在宅サービスについて、冊子やカタログ見て頂き丁寧に説明しながら必要性をお伝えし、サービスの調整がついてから退所となる旨ご理解頂いております。
- 在宅生活を前提とした居室環境の調整。

〈手厚いリハビリ・ケア体制〉

- リハビリ専門職の手厚い配置 ⇒ PT・OT・ST を 5 名配置している。
- PT2 名、ST1 名を配置、入所してから 6 ヶ月以内は週 3 回以上、6 ヶ月後は週 2 回個別リハビリを実施する。
- 人手不足することなく、充実した職員数を確保している。
- 在宅復帰に向けたリハビリ計画の充実及びリハビリの実施。
- 退所を目標に向けた介護、看護、リハビリ計画の充実。
- 生活リハビリの実施

〈外出・外泊の実施について〉

- 試行的外出・外泊の実施
- お試しの外出サポート（退所前後訪問指導）⇒ 退所を目標に自宅へ外出の機会を作り、リハビリスタッフをはじめ、各専門職が同行し課題を探る。本人の自信にも繋がり、家族を含め不安なところは相談、指導を行う。

〈家族指導の実施について〉

- 退所前に介護方法や処置などについて指導を実施
- 退所前に状況に合わせて複数回行う。

〈多職種・家族連携について〉

- スタッフに利用者の情報共有を行い、月に一人でも在宅復帰を目指す。
- 介護スタッフへ利用者の自立度アップの提案を実施している。
- 退所前に居宅ケアマネに連絡し、連携用紙を用いて現在の状況等をお伝えする。また、退所前に本人入所者の家族が同席、居宅ケアマネと一緒に自宅へ行き、今後のサービス等の調整を行う。
- 退所前連携にて居宅ケアマネとご家族、施設スタッフ、ご本人が参加して具体的なサービスを提案し、その場で退所後のイメージが持てるようアドバイスをしています。
- 居宅ケアマネを交えてのサービス担当者会議の実施やカンファレンスの実施 ⇒ ご本人のADLの発達と在宅生活に必要な支援の検討、サービスの提案を行う。
- 退所前カンファレンスと最終カンファレンスを行う。
- ご利用者及びご家族との綿密な打ち合わせ（施設CM、担当の看護・介護職員・リハ職・居宅CM・支援相談員が出席）また、普段からご家族との連携を密にする。
- 毎月Dr、PT、ST、Ns、介護の担当職員が一同に会し、利用者のリハビリカンファレンスを実施継続。
- 居宅ケアマネージャーへこまめに状況報告を行い、スムーズに在宅復帰ができるようにしていく。
- 退所時の在宅主治医との連携（受診の予約を含む）
- 直接面会やビデオ面会（ライン上）等で、リハビリの様子（歩行練習、立ち座り等）の動画を見て頂き、現在の状態を確認してもらい、在宅復帰につなげています。
- 退所への動機付けのため、家族面会の際はご本人の状況説明や、リハビリを見て頂く。
- ご家族も安心して迎えられるよう、密に相談にのっております。
- 定期面談の実施 ⇒ ご家族の意思確認、ご本人の現状を動画等を用いながら報告を行う。
- ご家族の協力体制やサービス提供を勤めていく。
- リハビリ見学の実施

〈その他〉

- 退所後のショートステイ利用のためのベッドの確保
- リピート利用者の再入所調整

老健は「在宅復帰を前提とした」施設であり、医療・介護サービスを受けながら在宅復帰に必要な能力の獲得・向上を図ることが役割として言われています。住み慣れた自宅で生活を送ることは、必要なサービスを選択・利用しながら、できることは自分で行う必要があるため、役割を見出しやすく生活意欲の維持・向上にもつながります。しかしその反面、転倒リスクや急変時の対応、家屋環境が合わない、家族の介護負担など不安要素もあります。在宅復帰において大切なことは、老健を退所することが目的ではなく、その後の在宅生活が継続できることです。そのためには、リハビリだけでなく多職種が連携し在宅生活を見据えた質の高いサービスを提供すること、本人・家族の理解、退所後のサービス担当者との連携がとて重要となってきます。

このアンケート結果からも分かるように、「生活状況・家屋環境の把握」「多職種・家族連携」を中心とした体制作りを各施設が行っています。この記事が各施設のより質の高いサービス提供、スムーズな在宅復帰推進の一助となれば幸いです。ご回答いただいた施設の皆様、お忙しい中ご協力ありがとうございました。



【物価高騰への取り組み】

Q：貴施設の物価高騰への取り組みについて、職種問わず小さなことでも良いので教えて下さい。

光熱費（送迎車燃料費含む）・食材高騰に対する対策

〈全体としての対策〉

- コストの検討を業者を含めて実施。
- いくつかの業者から見積もりを取る。
- 支出額の大きい電気代削減のため館内照明のLED化工事を計画・実施予定であるが、その他、ガス・公用車燃料費当の高騰、食材料費高騰による給食委託費の値上げもあり苦慮している。
- 食費、居住費の値上げ。
- 電気・ガスの事業者との契約の見直し。

〈食費対策〉

- 食費の値上げ。
- 代替品や食材内容変更。
- 生野菜を冷凍野菜に切り替える、残量の調査を徹底する。調味料を味に影響がない範囲で安価な業者に切り替える。ただし、値上げが進んでいるので工夫しても追いつかない状態。
- 食材・食費の検討を行う。献立の変更。
- 単価の高い魚の使用頻度を減らしている。
- 味付け魚の購入を控え、自前で味付けをしている。
- 冷凍野菜を取り入れている。
- 栄養補助食品利用者の見直しを実施。
- 見積もりを依頼し、業者比較を行う。または単価が安い食材、食品に変更する。
- 在庫管理の徹底、個数で使用するものは、人数を計算し、余りが出ないようにする。
- 食材費が高い献立や食材の使用回数を減らす（刺身など）。
- 食事は外部委託だが、値上げがあったため、食事代の値上げを検討している。
- 職員の食事を予約制にした。

〈燃料対策〉

- 送迎車による送迎ルートの短縮化
- ガソリン等の削減について、特に通所の送迎は効率の良いルートを再考してもらうが、なかなか時間や家族・本人の希望との都合がつかないことが多い。
- 送迎車の冷暖房の設定温度の調整による燃費向上。
- こまめに給油を行う。こまめに給油を行うことでタンク内の空気接触面積が減り蒸発による燃料ロスを防ぐ。また、エンジン負荷の軽減で燃費向上が期待できる。
- 送迎車燃料費についてはディーゼル車を優先して使用している。

〈電力対策〉

- 利用者がいない所の節電。
- エアコン温度、夏は26度、冬は19度設定。
- 緑のカーテン（ゴーヤ）対策
- 電気代については、各部署に削減計画を作成し、努めてもらっている。
- 施設内の冷暖房の設定温度の適宜調整
- デマンドシステムを導入し、電気使用量を管理している。
- 新電力を利用している。
- 室内温度の管理徹底を職員へ指導している。
- 夏季の日中は遮光カーテンを活用し、直射熱をカットしている。
- LED照明への全面切り替え実施
- 室内温度管理（冬23度に設定）の徹底強化
- 不要照明の消灯の管理徹底強化

お知らせ

お知らせ
1

★令和5年度 各種専門委員会合同会議★

令和5年度各種専門委員会合同会議を令和6年3月22日（金）14時～開催する予定です。今回は、現地参集にて行いたいと考えております。新型コロナウイルス感染症の位置づけも「5類感染症」に移行となり、今年度は研修会も参集での開催を行うなど、徐々にコロナ禍以前の状況に戻りつつあります。パソコン越しに顔を合わせてお話しするのも慣れてはきましたが、今回は直接顔を合わせてお話できる時間を設けさせていただきました。改めて詳細等（出席者の確認を含む）を送らせていただきます。お忙しいとは思いますが、委員のみなさまのご参加をお待ちしております♪



お知らせ
2

★茨城ロボッツ『Bプレミア』参入を目指します!★

茨城県老健協会は、「茨城ロボッツ」応援団になりました！
2026年『Bプレミア』参入にあたり、
今シーズン、平均集客4,000人が必要です。
この条件を達成するために、
みなさんの力をお貸してください！！
みんなで、茨城ロボッツを応援しよう！！



『わたし ^{きずき}城 ^{みなみ}南海は
茨城県老健協会のみなさんを
応援しています!』

県内他団体のご紹介

劇団いばらき

今号でご紹介させていただく県内他団体は「劇団いばらき」です。
慰問活動として各事業所からの問い合わせを受けて、公演を続けてきた
劇団員のみなさまの活動を誌面にてご紹介させていただきます。

大衆演劇 劇団いばらき～水戸黄門～



劇団いばらきは

施設様での慰問公演を中心に

活動を続けています。

各自治体・自治会様、団体・企業様の

イベント・催事等へも

お伺いさせていただいています。

沿革

2011年夏、TVドラマ「水戸黄門」終了の報が流れ、それを知った有志が「水戸で水戸黄門の灯を消してはならない！」と立ち上がり、ドラマ継続の署名活動を始めました。

それと並行して、ドラマ継承の代替えとして、水戸黄門を演じる劇団を立ち上げてみては、との動きが起こり始めました。そして、現存している水戸黄門愛好会様、「桜田門外ノ変」映画化支援の会様、常盤神社様等のご支援を受け、劇団いばらきが誕生しました。

運営にあたっては、劇団員、スタッフともすべてボランティアで活動。偕楽園梅まつり、桜田門外ノ変オープンロケセットにて毎週土日・祝日の公演をスタートに、現在まで施設様を中心に多数の公演（令和5年12月現在280回）を続けてきました。



ibaraki5650.com



劇団
いばらき
水戸黄門



ご老公

漫遊の旅・・・

まだまだ続きます。



ご依頼


お待ちしております♪

泣き顔が微笑みに変わる瞬間の想いを
伝えていきたい

この道が続くのは、続けると決めたから
be happy together・・・

連絡先：

加藤 TEL 090-1555-9867

 yuurichan9867@gmail.com

介護老人保健施設 つねずみ

介護課 鴨志田

当施設は水戸市にある、入所定員 80 名の介護老人保健施設です。1996 年に開設され、28 年目を迎えました。リハビリテーション職員、管理栄養士、看護師、介護士が連携を取りながら、在宅復帰に向けた支援、医療的ケア、日々の楽しみの確保に向けた取り組みなどを行っています。

当施設では、医療依存度が高く 24 時間サポートが必要な方の入所も受け入れています。

随時、喀痰吸引が必要な方、経管・経鼻栄養で食事を摂られる方、入所前すでに褥瘡を患っている方・もしくは褥瘡リスクの高い方などがいらっしゃいますが、看護師を中心に適切なケアに努めています。夜間帯も看護師が配置されており、経営母体を同じくする病院とも連携をとっているため、ご本人やご家族の方に安心していた

だけの体制が整っております。

日々の楽しみの確保に向けた取り組みに関しては、現在、食事前の口腔・嚥下体操およびレクリエーション活動や週に 1 度の集団レクリエーション、その他カラオケ、行事食・おやつレクリエーションなどを行っています。利用者様からは「頭を使うのもあるし、体を使うのもあるし楽しくやれている」「いい刺激になっている」など好評です。

今後の施設の取り組みとしまして、通所リハビリテーション・ショートステイ事業の展開を進めていく予定です。感染症対策に十分留意し、ご利用者様・ご家族様ひとりひとりの声を大事にしながら良質なサービスを提供できるように努めてまいります。



介護老人保健施設 つねずみ

リハビリテーション課 相田・干場・篠崎

当施設のリハビリテーションは、リハ職種が 7 人と入所定員 80 名に対して比較的多く、個別リハビリだけでなく、多職種と連携して集団レクリエーションやボランティア団体との連携、季節ごとのイベントで季節を楽しんでいただく取り組みを行っています。

また、ご利用者様に季節を感じていただく取り組みでは、中庭づくりに力を入れています。

春は桜、夏は野菜作りなど季節に応じて小規模から始まり、今では職種関係なく連携して行えるようになっております。元々、畑仕事をされてきたご利用者様が多く、野菜の世話や、外気浴される方も増え施設の雰囲気も明るくなりました。

リハビリをおこなう上で大事にしているのは、入所前後訪問でご本人様やご家族様のご希望を伺い、ご自宅環境を含めた目標設定を行うことです。その為に、ご本人

様の可能性等を含めたご家族様との意思確認を取らせていただき、目標に向けたリハビリや生活ケアの提供を行えるよう日々励んでおります。



また、多職種と連携して外出や外泊にも力を入れています。ご家族の方とのつながりや気分転換、またご本人様の現在の状態を確認していただく機会にもなります。安心して外出・外泊が行えるように身体機能、生活状況等の説明や生活介助指導にも取り組んでいます。

今後は施設として、居宅サービス事業を展開していく中で、リハビリを通してご利用者様・ご家族様に寄り添ったサービスを提供できるよう努めてまいります。

特別寄稿

今号の特別寄稿は、茨城県老健協会会員施設をいつも応援いただいています
歌手の^{きずきみなみ}城南海さんからメッセージをいただきました。

皆さんこんにちは。

昨年2月にコンサートを開催させていただいた城南海です。今年もお声がけいただきコンサートを開催することになりました。また皆さんにお会いできるのがとても嬉しいです。

茨城県老健協会の皆様、宜しくお願い致します。

昨年レコード会社を移籍しまして新しいチームとなり、先日1月24日にはデビュー15周年記念アルバム「爛漫」を発売しました。

久しぶりのアルバムですので、アルバムのお話をさせていただきたいと思います。

数々の名だたる作品を手掛けられてきた松岡モトキさんをサウンドプロデューサーにお迎えして、昨年配信リリースしました“愛”をテーマにした三部作を含む全11曲を収録した作品です。

三部作の作詞は、スターダストレビュー「木蘭の涙」や植村花菜さん「トイレの神様」などでも知られている山田ひろしさん。

作曲は、あのMISIAさんの名曲「Everything」を生み出した松本俊明さんや、BEGINのギター島袋優さん。錚々たる作家陣の皆様に提供いただき本当に光栄です。

15周年を迎えるにあたり、昨年は3ヶ月間連続の2マンライブ企画「城南海 duo で duo アシビ」を開催し、デビューの頃からご縁のあるシンガーソングライターの笹川美和さん、吉田山田、大石昌良さんをゲストにお迎えしました。

そのライブで、ゲストの方々にアルバムの楽曲提供やカバーのご相談をさせて頂き、素晴らしい曲が誕生しました。デビュー以降紡がれてきたご縁に心から感謝しています。

ちなみに、私自身が作詞作曲をした曲も収録しています。

全11曲通して編曲は松岡モトキさんときなみうみさん、エンジニアも同じ方だったので作品の統一感があり、新しいチームで作るワクワクを感じながら楽しく歌わせて頂きました。

色鮮やかな楽曲で新たな引き出しを作りながら、自分とも向き合うということでより自分らしい作品になったと思います。

ジャケット写真は、故郷奄美大島の浜辺で撮影された“奇跡の夕日”の写真です。また通常盤の他にテイチクオンラインショップ限定の豪華盤BOXセットとして、ライブ映像や配信楽曲のMusic Video、奄美大島での休日を撮影したDVDや、A4サイズフォトブックを盛り込んだ『「爛漫」15th Anniversary Deluxe Edition』も作りました！

ぜひ手にとって、楽しんで頂けると嬉しいです。



企画 2

各種専門委員会レポート

看護介護専門委員会

看護介護専門委員会の令和5年度活動実績では、

○第1回研修会7/26(水)Zoomで開催されました。講師は株式会社モルテン新浜隆弘先生をお迎えし、事故対策講座で「褥瘡」と「転倒転落防止」で行っています。

研修は実践をメインとし他職種の方に受講をいただいています。講義では、褥瘡の発生メカニズムと発生防止、転倒転落では発生するケースと防止対策が具体的に示されたものです。

○第2回研修会は1/17(水)Zoomで開催しています。

内容は、ターミナルケアについて他職種参加により、講師として土浦訪問看護ステーション管理者川並和恵先生をお招きしました。

研修会では、ターミナルケアの実践、緩和ケア、他職種連携など現場に即した内容の他、人生の最期に携わるにあたり知っておくべきことなど、精神面の取り組みにも及ぶものとなりました。今後とも、当委員会では皆さまを少しでも支援できる研修会を開催してまいりたいと思っております。引き続きのご支援をお願いいたします。

看護介護専門委員会 委員長 足立 由香

支援相談員専門委員会

支援相談員専門員委員会では、毎年第1回目はグループワークを行っております。事前に研修テーマのアンケートを取り、グループ分けの参考にさせて頂いております。今回6月のZOOM研修では①LIFE、加算②コロナ禍における施設での取り組み③連携④その他、の内容となりました。ここ数年はコロナ禍における様々な制限等ありましたが、今年5月にコロナ感染症が第5類になり変わったことや各施設での取り組みなど情報交換して頂き、有意義な研修になる様研鑽しております。

第2回は10月に東京成徳大学 応用心理学部 健康・スポーツ心理学科、関谷大輝先生による「感情労働職のメンタルヘルスとセルフケアについて」ご講義いただきました。私たちは対人支援の仕事に携わる中で、多様な利用者さまやご家族への対応が必要で、組織内での調整の役割もあり苦慮することもあります。そのような支援相談員の仕事は、実は「感情労働」と呼ばれるものと切っても切れない関係にあり、その特徴、対処の視点等をご講演くださいました。合わせて研修のワークでは、感情労働度と燃え尽き度がわかり、自身のセルフケアが大切なことを学びました。

このように支援相談員専門委員会として行った年2回の研修を活かし、専門性を高めていけると良いと思います。これからも皆様にとって有意義な委員会となりますよう努めてまいります。ありがとうございました。

支援相談員専門委員会 委員長 二川 洋子

栄養専門委員会

令和5年6月21日に「褥瘡の患者さんのための栄養ケア」「経管栄養の基礎知識について」の2つのテーマで研修会を開催し、参加対象者は栄養士・管理栄養士だけでなく他職種も可能で、多くの方の参加がありました。

初めに褥瘡の概念とメカニズムについて確認し、最新の褥瘡の予防管理ガイドライン第5版について、第4版からの主な改善点や栄養領域の改定等を学びました。次のグループワークでは多職種で株式会社クリニコ様の7製品を試食しました。多くの製品を一度に比較することで、それぞれの特徴を把握でき、様々な意見や感想を共有することができました。2つ目の経管栄養の基礎知識については、

基礎だけでなく投与手順や感染対策、合併症の対処についても学びました。また今、腸活成分で注目されている「プレバイオティクス」「ポストバイオティクス」の栄養管理における働きや有用性を、具体的な事例を交え、動画でわかりやすく解説していただきました。

多職種で褥瘡についての知識を深め、経管栄養管理の新たな情報を得ることができた貴重な機会となりました。参加できなかった他職種とも情報共有し、利用者様一人ひとりに合った栄養管理ができるよう知識の向上に努めていきたいです。

栄養専門委員会 委員 宮本 律子



事務専門委員会

事務専門委員会の令和5年度活動実績では、

○第1回研修会 7/28（金）ザ・ヒロサワシティ会館現地開催で開催されました。講師は小林信彦先生（いばふく中央福祉専門学校）を迎え、中堅職員を対象にした接遇、利用者様・ご家族、そして職員間の接遇、コミュニケーション力について講義をいただきました。

講義全般でいわゆる座学ではなく、参加者同士のコミュニケーションを意識した活気のある時間になり、参加者の皆さんには好評をいただきました。

○第2回研修会は、11/17（金）ザ・ヒロサワシティ会館現地開催で行われました。

内容は、主にグループワークにより、各施設の課題の持ち込みや情報交換を通じ、課題解決の糸口をはかれる場にするを目的にしています。

研修会では、当協会顧問弁護士 袖山一帆氏が参加され、電話相談事例の報告各グループワークへの参加が行われ、充実した研修会となりました。

今後も沢山の方にご参加いただけますよう委員会として活動を行って参りますのでご支援の程よろしくお願いいたします。

事務専門委員会 委員長 石毛 豊秀

リハビリテーション専門委員会

本年度のリハビリテーション専門委員会では、年々増加していく高齢者に対して質の高いリハビリの提供を目指す会員の研鑽を目的とし、「高齢者リハビリアップデート」を年間テーマとして掲げ、年3回の研修会の企画・運営を行っております。

第1回は7月に茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長の西村文吾先生をお招きし「摂食嚥下障害に対するリハビリテーション～頭頸部癌患者も含めて～」のご講演頂きました。第2回は10月に医療法人社団悠翔会理事長・診療部長の佐々木淳先生をお招きし「新しい老年医学の考え方」のご講演頂きました。それぞれの研修では、摂食嚥下や高齢者医学の最新知見などの医学的な知識の修得だけではなく、「虫・鳥・魚」の視点を持つこと、その人の全体像を見極めることの大切さなど、専門職として必要な基本姿勢についてもご講演くださいました。

第3回は2月に名古屋学院大学リハビリテーション学部の石垣智也先生にご講演頂く予定になっております。来年度には介護報酬改定を控え、リハビリの質や効率、アウトカムなどが、より求められてくるものと思われます。このような社会の変化に柔軟に対応し、日々の臨床業務にあたる会員の皆様に寄与することが当委員会の役割であると考えています。今後も皆様にとって価値ある発信が出来るよう努めて行きたいと思っておりますので、研修会へのご参加を心よりお待ちしております。

リハビリテーション専門委員会 委員長 原島 亮治

令和5年度 各専門委員会 主催研修会の実績

専門委員会名	実施年月日	事業（研修）内容
看護・介護	令和5年7月26日（水） （第1回） 参加者21施設34名	内 容：事故対策講座 （事故の観点から見た褥瘡、転倒転落対策） 講 師：榊モルテン
	令和5年8月18日（金） ～11月24日（金） （全8回）	資格取得セミナー 内 容：介護福祉士国家試験対策講座 全8回シリーズ 講 師：矢花 光（リリーこども&スポーツ専門学校教諭） 目 的：有資格者増加による業態のサービス品質向上
	令和6年1月17日（水） （第2回）	内 容：ターミナルケアについて 講 師：川並和恵 （公社）茨城県看護協会 土浦訪問看護ステーション管理者
支援相談員	令和5年6月16日（金） （第1回） 参加27施設48名	内 容：グループワーク ・情報交換、課題抽出
	令和5年10月20日（金） （第2回） 参加者25施設53名	内容：多職種向け研修会 ・感情労働職のメンタルヘルスとセルフケアについて 講 師：関谷大輝（東京成徳大学応用心理学部 准教授）
栄養	令和5年6月21日（水） （第1回） 参加者41施設104名	内 容：多職種向け研修会 ・褥瘡患者のための栄養ケア ・経管栄養の基礎知識 講 師：片野絵里奈（㈱クリニコ つくば営業所 管理栄養士）
	令和5年12月5日（火） （第2回） 参加者28施設44名	【公益社団法人茨城県栄養士会との共同開催】多職種向け研修会 内 容：CKDの基礎と福祉施設での栄養管理 グループワーク：多職種連携、栄養士業務について 講 師：石川祐一（公社）茨城県栄養士会会長
事務	令和5年7月28日（金） （第1回） 参加者30施設36名	〇ザ・ヒロサワシティ会館 内 容：接遇研修（中堅職員向け） 講 師：小林信彦（いばらき中央福祉専門学校 介護教員）
	令和5年11月17日（金） （第2回） 参加者18施設21名	〇ザ・ヒロサワシティ会館 内 容：グループワーク テーマ：事前募集（人事評価、コンプライアンス、他） その他：顧問弁護士による相談事例報告、グループワーク参加
リハビリテーション	令和5年7月7日（金） （第1回） 参加者112名	内 容：摂食嚥下障害に対するリハビリテーション ～頭頸部癌患者も含めて～ 講 師：西村文吾 （茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長）
	令和5年10月24日（火） （第2回）参加者62名	内 容：新しい老年医学の考え方 講 師：佐々木淳（医療法人社団 悠翔会 理事長・診療部長）
	令和6年2月6日予定 （第3回）	内 容：「要介護高齢者に対して根拠に基づく リハビリテーションを実践するポイント」 ～主体的かつ納得の得られる経験の重要性～ 講 師：石垣智也（名古屋学院大学リハビリテーション学科教授）
令和5年度 専門委員会 合同会議	令和6年3月22日 （予定）	内 容：①令和5年度事業実績のまとめ ②令和6年度事業計画策定 ③その他

医療法人慈心会
介護老人保健施設 **フェニックス那珂** (那珂市)



●花の針刺し

手芸クラブの利用者様で花の針刺し作りに挑戦しました。細かい作業で難しさもあったと思いますが、皆さん助け合いながら綺麗な花を咲かせる事が出来ました。大変な思いで作成した作品のため喜びはひとしお。作品を眺めながらの笑顔はどの花よりも綺麗になりました。

医療法人社団
筑波記念会
介護老人保健施設 **つくばケアセンター** (つくば市)



●鬼退治

当施設では、毎月季節に合う壁画を利用者様と相談しながら作成しています。2月は節分！！コンセプトを決めて、その場で意見を交わしながら作成する事で、思いつかないようなアイデアが生まれます。迫力ある鬼達は、1つ1つ小さな丸めた紙を集めたもので、完成した時には「頑張ったから凄いのができた！」とみんな大喜びでした。

みんなの広場

介護老人保健施設 **やすらぎ** (大子町)



●貼り絵 (たき丸と金太郎)

大子町のマスコットキャラクターの「たき丸」、昔話の金太郎の貼り絵作成に挑戦致しました。当施設の利用者が2班に分かれて、色とりどりの花紙を1cm大に丸めて、下絵の中に貼りつけていきました。完成まで3ヶ月を要しました。一人一人が頑張って作り上げたもので完成した時は、大きな感動と喜びが溢れていました。当施設の玄関に飾っており、来客される方から感心されています。

ウイケア (石岡市)



●ダルマ作り

通所リハビリの利用者38名とリハビリの一環としてダルマ作りに取り組みました。お花紙で小さな花をたくさん作り、立体的な球体に貼り付けました。おやつ時間を忘れるくらいみんなで夢中になり一丸となって完成させ達成感を感じた経験は、何ものにも代えがたいものとなりました。

— 編集後記 —



○今号の表紙は高萩市の景勝地「花貫渓谷」の早春風景です。真ん中の汐見滝吊り橋をはさんで花園神社の写真になります。記事では、緊急レポートで各施設の物価高騰と在宅復帰への取り組みをまとめました。

発行所／一般社団法人 茨城県介護老人保健施設協会
発行人／老健かずみがうら 大場 正二



一般社団法人
茨城県介護老人保健施設協会
ホームページ

編集人／プロスペクトガーデンひたちなか 森 田 隆
編集／鹿野苑 熊 坂 裕 吾
シニア健康センターしおさい 児 島 強
つくばリハビリテーションセンター 市 原 健 一
平成園 小 柳 賢 時
ウイケア 岩 瀬 剛

茨城県介護老人保健施設協会会員一覧

番号	施設名	所在地	電話番号	番号	施設名	所在地	電話番号
県北地区	1 おはよう館	北茨城市磯原町磯原字前大沢1919-4	0293-44-0088	県南地区	1 さざんか荘	桜川市龜岡992	0296-76-2021
	2 ひだまり倶楽部	北茨城市磯原町磯原2-305	0293-30-1710		2 協和ヘルシーセンター	筑西市門井1669-2	0296-57-6030
	3 博 純 苑	高萩市大字秋山625	0293-23-2900		3 ごぎょうの里	筑西市小林467-1	0296-25-5710
	4 ノ ア	高萩市高浜町3丁目154-1	0293-24-2100		4 梨 花 苑	筑西市木戸348	0296-37-4810
	5 さくら日立	日立市城南町1-11	0294-22-8811		5 ルーエしもつま	下妻市江1832	0296-44-8000
	6 日立南ヘルシーセンター	日立市大みか町6-17-1	0294-52-6825		6 寿 桂 苑	坂東市香掛4527-1	0297-44-2345
	7 シニア健康センターしおさい	日立市国分町3-6-1	0294-34-6611		7 青嵐荘ケア・アシスタンス	古河市上大野703-1	0280-98-2711
	8 くじらヶ丘	常陸太田市田渡町855-1	0294-70-2611		8 平 成 園	古河市旭町1-17-39	0280-31-5998
	9 大宮フロイデハイム	常陸大宮市上町318-1	0295-53-1000		9 あんしん	結城市大字結城字豊田12744	0296-33-0880
	10 温泉リハビリセンター虹の丘	久慈郡大子町大字矢田93-1	0295-72-6331		10 生きいき倶楽部	結城市大字結城9143-1	0296-20-8666
	11 ひたちの森ハピネス	日立市十王町伊勢725-1	0294-20-6699		11 マカベシルバートピア	桜川市真壁町栗山1945	0296-54-2800
	12 やすらぎ	久慈郡大子町大字888	0295-72-6622		12 境町メディカルピクニック	猿島郡境町塚崎2555-1	0280-81-1055
	13 ブラタナスの丘	常陸大宮市宇留野3109	0295-54-1150		13 しろかね	下妻市下栗1217	0296-30-1811
	14 はすみ敬愛	常陸太田市山下町972	0294-73-1311		14 さくらがわ	桜川市東飯田659	0296-20-6071
	15 田尻ヶ丘ヘルシーケア	日立市田尻町2-8-11	0294-43-6343		15 まくらがの郷	古河市東本町4-2-2	0280-33-1234
県南地区	1 サンライズ湊	ひたちなか市阿字ヶ浦町字原1406-1	029-265-8711	県西地区	16 きねぶち	坂東市長谷989-5	0297-47-3333
	2 勝 田	ひたちなか市中根5125-2	029-276-3111		17 けやきの舎	古河市仁連601	0280-77-3333
	3 みなと苑	ひたちなか市幸町16-1	029-263-0655		18 すばる	結城市大字結城10780	0296-21-2088
	4 いちご苑	ひたちなか市笹野町1-3-20	029-271-1750		19 夢彩の舎	猿島郡境町大字若林2269-1	0280-33-7300
	5 フェニックス那珂	那珂市飯田1733-1	029-298-8787		20 プレミエール元気館筑西	筑西市古部554-3	0296-57-7000
	6 ライブラリーライフ「那珂」	那珂市菅谷605-2	029-295-6835		1 さくら	土浦市神立町字前原444-2	029-833-1020
	7 きんもくせい	東茨城郡城里町石塚1223-1	029-288-7221		2 シルバーケア土浦	土浦市木田余4606	029-826-7021
	8 はあもにか	水戸市石川4丁目4039-26	029-254-5777		3 ひかり	土浦市右柳1113-1	029-843-3321
	9 こすもぴあ	水戸市石川4-4027	029-252-4777		4 アリエッタ	つくば市北条1174	029-867-1182
	10 くるみ館	水戸市河和田町3335-1	029-255-4774		5 つくばリハビリテーションセンター	つくば市大曾根3681	029-864-8300
	11 ナーシングホームかたくり	水戸市河和田町4516-1	029-255-5222		6 そよかぜ	つくば市上横場2573-1	029-836-0517
	12 みがわ	水戸市見川町2131-105	029-305-6868		7 「豊 浦」	つくば市大字神郡2013-1	029-850-7111
	13 つねずみ	水戸市大塚町字小山2-14	029-247-6250		8 つくばケアセンター	つくば市要76	029-877-1313
	14 つまさと	水戸市有賀町2228	029-259-7677		9 なでしこ	つくば市水守2228-2	029-864-6565
	15 エバグリーン	東茨城郡茨城町若宮字向ヒ393-1	029-293-9460		10 ゴーエン美浦	福敷郡美浦村宮地678	029-885-5522
	16 レイクヒルひぬま	東茨城郡茨城町下石崎2324	029-240-8120		11 ケアセンター阿見	福敷郡阿見町若栗2957-4	029-889-1180
	17 おおあらい	東茨城郡大洗町大貫町1212-11	029-267-1331		12 スーペリア360	福敷郡阿見町荒川本郷2033-508	029-830-5300
	18 カーサ・ピアノしろさと	東茨城郡城里町阿波山原602	029-240-9595		13 セントラルゆうあい	牛久市柏田町1590-3	029-872-8833
	19 ラプラス津田	ひたちなか市津田3728	029-222-4186		14 涼 風 苑	龍ヶ崎市貝原塚町3689	0297-63-0008
	20 プロスペクトガーデンひたちなか	ひたちなか市高野字柏野2455-1	029-354-3210		15 サンライフ宗仁会	取手市岡1471	0297-85-8743
	21 シルバービレッジ	笠間市小泉977-1	0296-78-2211		16 取手市介護老人保健施設緑寿荘	取手市野々井1926-8	0297-78-9100
	22 笠間シルバーケアセンター・パル	笠間市来栖255-1	0296-70-1185		17 はあとぴあ	取手市井野253	0297-74-3335
	23 あたごナーシングビル	笠間市土師1080-1	0299-37-6511		18 けんちの苑北海道	常総市豊岡町丙3264	0297-24-5511
	24 すみれ	笠間市石井2045	0296-70-0035		19 春 秋 園	牛久市猪子町891-2	029-870-3100
	25 はなみずき	水戸市東原3丁目2-8	029-303-3501		20 けやきの郷	龍ヶ崎市若栗町字沖餅1741-1	0297-61-5133
	26 桜の郷敬愛の杜	東茨城郡茨城町桜の郷1000-2	029-353-6581		21 プレミエール元気館	つくば市谷田部6107-1	029-838-1919
県東地区	1 鹿 野 苑	鹿嶋市宮津台188-17	0299-83-7311	22 ホワイトハウス千代田	かずみがうら市東野寺495-2	0299-23-1133	
	2 ばんなん白光園	神栖市賀2148	0299-93-1162	23 いなしきの郷	福敷市佐原組新田1378-1	0299-79-3811	
	3 シオン	神栖市土合本町2-9809-126	0479-48-1888	24 プエプロ福敷	福敷市狸穴11	0297-87-7511	
	4 フロントピア銚田春の場所	銚田市柏熊985-1	0291-32-5408	25 もえぎ野	北相馬郡利根町もえぎ野台1丁目1-8	0297-84-6081	
	5 リヒトハウス北浦	行方市繁昌1712-1	0291-35-0471	26 ネオテラス宗仁会	取手市岡1493	0297-85-8341	
	6 みのり苑	小美玉市橋場美21	0299-48-3556	27 ひまわり	つくば市高崎1008	029-871-5749	
	7 八郷プロパンス	石岡市瓦谷766-28	0299-44-3213	28 アイケア	守谷市小山318-5	0297-38-6767	
	8 サングリーンやさと	石岡市小倉443-1	0299-43-3120	29 セントラル土浦	土浦市真鍋新町12-10	029-893-6100	
	9 コミュニティケアセンター縦山	銚田市縦山497	0291-37-3850	30 ビオラセア	龍ヶ崎市字野原1360-1	0297-85-5111	
	10 あいあい	石岡市東石岡4丁目1-38	0299-28-3838				
	11 サン・テレーズ	小美玉市栗又四ヶ1752-1	0299-37-1115				
	12 かずみがうら	行方市若海793-5	0299-55-0122				
	13 ウイケア	石岡市行里川112951-1	0299-56-2533				
	14 小美玉敬愛の杜	小美玉市中台148	0299-56-5181				

